

修士論文の和文要旨

大学院情報システム学研究科		博士前期課程	情報システム設計学	専攻
氏名	竹之内 隆夫		学籍番号	0350029
論文題目	ユビキタス環境において動的なコンテキストに追従して知識情報をフィルタリングする推論エージェントの開発			
要旨	<p>近年、セマンティック Web が注目されている。セマンティック Web の普及により、コンピュータ（エージェント）はセマンティック Web の膨大な意味ネットワークから知識を得ることが可能になる。</p> <p>また同様に、ユビキタス環境の到来も予想されている。今後はユビキタス環境においてもメタデータの利用が想定され、それを介し、さまざまな物が膨大なセマンティック Web の意味ネットワークに接続されることになるだろう。著者らはこれをユビキタスセマンティクスと呼んでいる。</p> <p>ユビキタスセマンティクスにおいては膨大な知識が存在する一方で、大半の知識は過渡的なものであると考える。また、ユビキタス環境のユーザのリアルタイムな要求を満たすためには、有用な知識を効率よく取得して、推論することが必要である。そこで、ユビキタスセマンティクスの過渡性の要素を、時間 (Time)、場所 (Place)、ユーザの状況 (Occasion)、個人の好み (Personalization) であると定義し、そのような要素において動的に変化するユーザのコンテキストに追従して、必要な知識情報を分類し、ユーザへの即応性を実現する推論エージェントを提案する。</p> <p>このエージェントは、あらかじめ分類された知識に対してユーザのリクエストに応じて切り取ることになるため、小さな知識情報で推論でき、即応性を上げることが可能である。</p> <p>また、評価アプリケーションとしてレシピ推薦システムを開発し、即応性と精度の検証を行った。</p>			